

まちの間 **1** 周年記念 !!

オープンハウス+まちなか談義

これからの佐賀のまちづくりについて語り合しましょう!

甘酒ふるまいます♪

2011年12月19日(月) 17:00~21:00

まちなかの創造的コミュニティスペースを持つシェアハウスとして学生自らが建物を改修して住む実験住宅「まちの間」が完成して早や1年。その間、学生たちはまちなかでの生活を満喫し、多くの人たちとのまちづくりコラボのような活動も行われつつあります。今回は、その「まちの間」1周年を記念して、オープンハウス+まちなか談義を企画しました。

第2部の講師としてお呼びする田北雅裕氏は、「提案は、実践されてこそ意味がある」と考え、「杖立ラボ」を設立して住民目線でまちづくりに取り組んでいるプランナーです。いつしか杖立の一員になって、橋の欄干の補修、イベント開催、観光案内など、様々なプロジェクトを実現してきました。その「杖立ラボ」という小さな団体による地域全体を巻き込んだ新たな取り組みは、実践的取り組みとして特筆に値します。

田北氏を囲んで、まちづくりの実践的取り組みについて語り合い、街のこれからにつながるような取り組みとは何か、そしていかに実現できるのか、について一緒に膝詰めで考えましょう!!

第一部 実験住宅 まちの間
オープンハウス
17:00~19:00

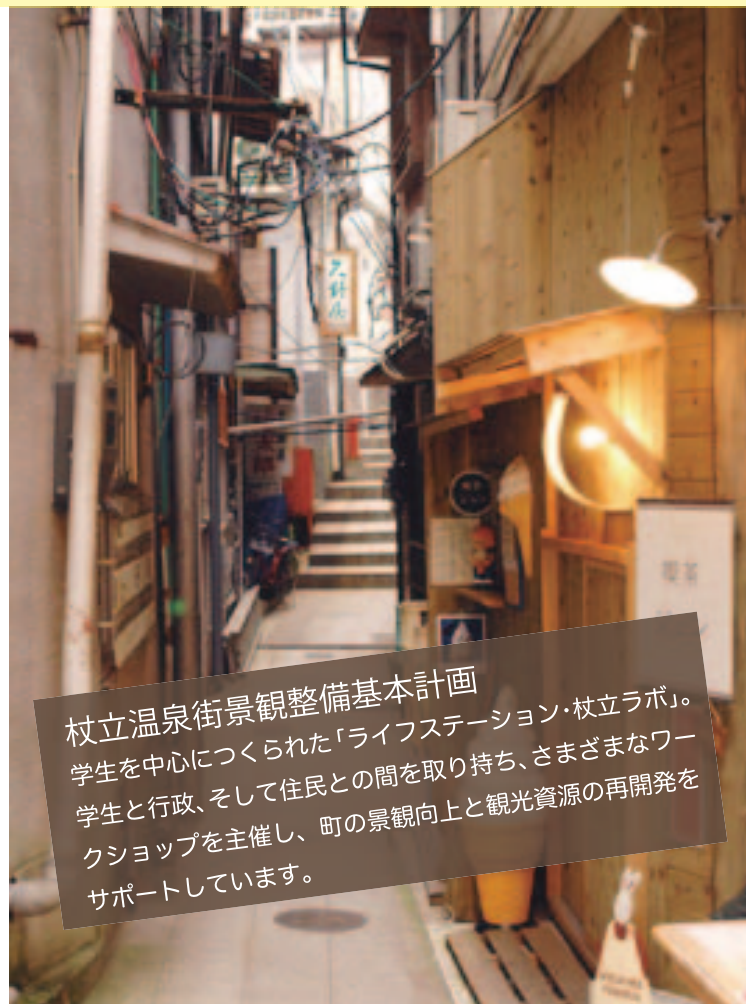
第二部 佐賀のまちなか談義
「まちづくりの実践」
19:00~21:00



講師：田北雅裕 (Takita Masahiro)

九州大学大学院 人間環境学研究院 / 統合新領域学府
ユーザー感性学専攻 専任講師
デザイナー／プランナー

1975年熊本県生まれ。2000年、学生の傍ら「まちづくり」を切り口としたデザイン活動 trivía を開始。以降、フリーランスのデザイナー・プランナーとして様々なプロジェクトに携わる。04年に杖立温泉街(熊本県小国町)に移住。まちづくり機関「杖立ラボ」を設立し、住民の立場から景観整備やローカル・ガバナンス、地域ブランディング事業等に取り組む。08年より「南阿蘇えほんのくに」事務局長を兼任(～09年2月)。09年4月より現職。



杖立温泉街景観整備基本計画
学生を中心につくられた「ライフステーション・杖立ラボ」。
学生と行政、そして住民の間を取り持ち、さまざまなワークショップを主催し、町の景観向上と観光資源の再開発をサポートしています。

会場 実験住宅「まちの間」 佐賀市呉服元町8番8号

講師：田北雅裕氏(九州大学大学院専任講師・「杖立ラボ」代表)
主催：三島・田口研究室+佐賀のまちなか居住研究会、低平地研究会
共催：佐賀大学大学院工学系研究科都市工学専攻、佐賀大学沿岸海域センター
後援：NPO法人まちづくり機構ユマニテさが
連絡先：三島伸雄 佐賀大学大学院工学系研究科 准教授

Tel、Fax：0952-28-8703

Mail：mishiman@cc.saga-u.ac.jp

* 低平地研究会・講演会(地域デザイン専門部会)の一環として行います。

